



歌声と音色が響き渡りました

## 桜ジャズ

4月21日、美郷町中央公園で桜ジャズが開催され、美郷ジャズオーケストラの演奏者がさまざまな楽曲を披露しました。

春の陽気に包まれた会場では、たくさんの観客が咲き始めた桜とともに素晴らしい音楽を楽しんでいました。

『本と生きること』

## 佐々木毅先生講演会

4月28日、美郷大使である元東京大学総長の佐々木毅先生の講演会が住民活動センターで行われ、町内外から230の方が参加されました。

『本と生きること』と題して行われた講演会で、佐々木先生は「本を読むことで何をを知りたいと思うのか、何を問いかけるのか、何を問題として考えるのか、その過程が知りたい内容よりも重要であると思っています。現代はスマートフォンなどで知りたい情報をすぐ調べられますが、それだけを求めることは色眼鏡（先入観や偏見）で物事を見てしまうことになるかもしれません。」と話され、本を読むことの大切さについて講演されました。



おめでとうございます

佐々木毅先生が叙勲  
瑞宝大綬章を受章されました

美味しいお米で美郷町をPR!

## ごはんの教室&農業体験のすすめ

5月11日、12日に東京都大田区で『ごはんの教室&農業体験のすすめ』が開催されました。このイベントは、参加者自らが美郷町産米を鍋で炊き、その味を確かめてもらうことで美郷町産米のPRにつなげようと平成25年度から開催しています。今回も五つ星お米マイスターの篠木郁子さん（横手市）、美郷町都市農村交流推進協議会の吉方衛さん（八卦・熊堂）と高橋光広さん（大荒田）を講師に招き、美味しいごはんの炊き方と米や野菜の栽培についての講義を受けながら、特別栽培米あきたこまちの炊飯に挑戦しました。炊きあがったごはんを食べた参加者からは「お米がとても美味しい」「農作業を体験してみたい。美郷町に行ってみたくなった」という声が聞かれました。



50年以上の歴史

## 六郷仏教会の花まつり

5月20日、六郷仏教会主催の花まつりが開催され、鮮やかな衣装に身を包んだ26人のお稚児さんたちが、市場通り商店街周辺を練り歩きました。

50年以上の歴史がある六郷の花まつりは、毎年お釈迦さまの生誕を祝い開催されます。

稚児行列が通ると、沿道ではたくさんの見物客が笑顔で迎えていました。



MISATOPICS

町の話



# タイ王国との交流

タイ王国の食と文化に触れることができる「タイ食文化講座」が毎月開催されています。5月16日(水)には初回の講座が開催され、タイ語の単語学習、タイ料理の調理実習が行われました。

## ■タイ語のあいさつ

「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」。日本語では違った表現をする3つの言葉ですが、タイ語では1つの言葉で全ての意味を指します。また、タイ語には丁寧語があり、男女で違った丁寧語を単語の語尾につけます。

## ■タイ料理「グリーンカレー」

グリーンカレーはココナッツミルクを使う汁気の多さが特徴で、美味しさの秘密は「ココナッツミルクの甘さと青唐辛子のピリッとくる刺激的な辛さ」にあります。

グリーンカレーには普段私たちが食べているカレーとはまた違った魅力があります。

おはようございます こんにちは こんばんは

(共通)  
สวัสดี  
(サワディー)

(丁寧語)  
ครูรับ (クラブ) ※男性のみが使う  
ครูคะ (カー) ※女性のみが使う

สวัสดีครูรับ (サワディー クラブ)  
สวัสดีครูคะ (サワディー カー)



▲講師のサランヤ・プンターさん(右) ▲グリーンカレー助手の山村シリポーンさん(左)

日本航空(株)との連携協力協定を結んで以来、私はできる範囲でJALを利用して出張しております。悪天候による影響は稀ですし、移動時間も短く、ありがたいところです。また、窓側の席に座ることができれば、飛行機ならではの景色を楽しめる良さもあります。

その「ならではの景色」には、目線の高さの雲をはじめ、連なる山々の褶曲、河川のうねり、平野の形状などの俯瞰があります。折々に生命感を感じますが、一番好きな眺めは、5〜6月頃の新緑期の山々で、針葉樹の深い緑と落葉樹の萌え出した緑

が織りなすコントラストは「美しい」の一言。また、水を張った田んぼの輝きは豊穰を予感させ、これはこれで豊かな気持ちにさせてくれます。

そんな美しい景観を乗客に提供する飛行機ですが、やはり基本は安全運航。航空各社とも安全運航に万全の留意を払っていると思えますが、特に機体メンテナンスには一番力を入れているものと思えます。ちなみに、戦後初の国産旅客機YS-11に次ぐ国産旅客機として開発が進む三菱リージョナルジェットも、先進技術が満載されている機体ですが、デビューが延伸している理由が安全航行に関連してのとこの。なんてたつて安全運航が第一ですので、技術的に修正すべきは修正して、早く世界の空を飛んでもらいたいものです。

さて、そういう飛行機について、町では身近にその世界に触れることができる機会を企画しました。学友館において、JALの特別協力による「空と飛行機の世界展」を7月1日から開催します。飛行機が飛ぶ理屈や機体の秘密などの説明はもちろん、JALキャビンアテンダントの歴代制服や国際線ファーストクラスのシート展示など、普段はなかなか目にする事ができない展示を予定しております。みなさんには知的好奇心をマックスにして、ご来場いただきたいと思えます。そしてこうした機会を通じ、特に子供たちには、科学の心を大きく成長させてもらいたいと思えます。

大正期に数々の記録を樹立した飛行家佐藤章が生まれ育ったこの地。科学の心は、やはり飛行機を通じても育んでもらいたいものです。

## 科学の心

COLUMN WINDS

## コラム 風

美郷町長  
松田知己



佐々木毅先生講演会にてあいさつをする松田町長